

## 第58回通常総会 会長あいさつ

令和元年5月31日  
城山ホテル鹿児島

本日は、令和元年度の第五十八回となります通常総会のご案内をいたしましたところ、皆様には、何かと、お忙しい中ご出席をいただき、盛大に開催できますことを、心より感謝申し上げます。

鹿児島県からは知事代理として土木部次長の富永 信一様と、土木部監理課長の米盛 幸一様、また、厚生労働省 鹿児島労働局からは、局長の小林 剛様に、ご出席をいただいております。ご来賓の皆様には、お忙しい中、ご臨席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

先ほどの表彰式におきまして、昨年度の黄綬褒章及び国土交通大臣表彰の受賞者の「顕彰」と、「全国建設業協会表彰」の伝達、並びに、本年度の「県建設業協会」の表彰を行いました。

受賞された皆様は、いずれも永年にわたり、本県の建設業の発展に尽力され、多大な貢献をされた方々でございます。

心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝と、今回の受賞を契機に、後継者の育成をはじめ本県建設業界の発展のために、一層のご精励あらんことを、ご祈念申し上げます。

申しあげるまでもなく、我々建設業の使命は、社会資本の建設や維持管理を通じて地域社会の発展を支えるとともに、災害時における活動等により、地域の安全・安心を確保することにあります。

減災、防災、国土強靱化への対応が強く求められる今日、建設業の果たすべき役割が重要性を増す一方、生産年齢人口が減少するなかで、担い手の確保・育成や、働き方改革への対応が喫緊の課題となっております。

当協会といたしましても、地域建設業の存続に向けて、これらの諸課題に真剣に向き合い、長時間労働の是正や給与・社会保険の充実、生産性向上などに取り組んでいかなければならないと考えております。

同時に、これらを実現するためには、安定的・持続的な公共事業予算の確保が不可欠であることは申し上げるまでもありません。昨年末には、「防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策」が閣議決定され、令和二年度までの三年間で、総事業費七兆円の事業を集中実施することとなりました。既に、国、県、市町村においてもその一部が、今回の補正、及び当初予算で措置されました。

また、品確法の改正を契機に、7回に及ぶ労務単価の引き上げや、最低制限価格の引き上げ、積算基準の改正など、入札・契約制度についても、着実に改善が進みつつあります。発注者をはじめ関係の皆様には、衷心より感謝申し上げますととも

に、引き続き、特段のご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

私どもといたしましても、技術と経営に優れた会員企業が、地域で信頼され、円滑な事業継続ができるよう、今後とも、受注機会の確保をはじめ、入札・契約制度の改善に向けた要望活動や労働災害の根絶など、積極的な協会活動に取り組んでまいります。

本日は、総会スローガンとして「建設業の働き方改革と担い手の確保・育成」、「県土の強靱化と災害支援の強化」、「社会的責任の実践と公正な事業活動の推進」、「労災死亡事故の絶滅と交通事故防止の徹底」という四つの柱を掲げております。

今回、提案しております各議案の審議が円滑に進みますよう、皆様方のご協力をお願いいたしますとともに、ご臨席の皆様の、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。